

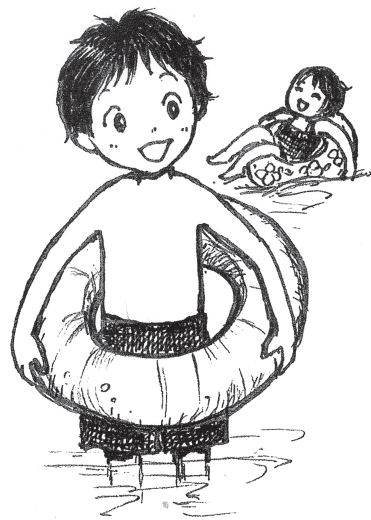


第427号

発行  
浄土真宗  
心光寺  
奥原曇龍  
倉敷市早高426  
☎(086)420-1311



# 生まれ生きる



カット：本多紘子

八月は御盆月。都会に出て就職された人たちが、故郷の田舎に御先祖様を偲ぼうと帰省ラッシュが間もなく始まります。年々と夏の猛暑が酷くなっていますが、皆様方がお過ごしでしょうか。

都会に住み着いて長い御家庭は、故郷の親戚の縁が薄れ、帰る田舎もないので、避暑の旅行や海外旅行に出かける人も増えていきます。どちらにしても健康で元気で無ければ、田舎にも帰れず、旅行にも行けないので、普段から適宜な運動をしながら暑さに負けない身体づくりをしたいものです。暴飲暴食には特に気をつけたいですね。

愚僧も植えていた夏野菜が、あまりの高温で葉っぱが枯れ始めました。キユウリ・ピーマン・オクラ・ナスと次々と葉が枯れ、少々の水やりでは高温障害で全滅です。テレビを見ると、高温で全滅をする前に収穫した夏野菜を切らずにそのまま凍らせる「丸ごと冷凍」が薦めだと言う。カット野菜を冷凍した場合の保存期間は一ヶ月だが、丸ごとの場合は切り口が無いので傷みにくく、三ヶ月ほど持つのだそうです。トマトは凍らせるとうまみが増し、酸味が和らぎます。ピーマンも苦みが和らぎ食べやすくなります。オクラは産毛が自然に落ち、処理がしやすいそうです。食材を長持ちさせ、食費の節約にもなれば、

\*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

有り難いですね。保存袋には冷凍した日付も書くことが大切です。

夏と言えば全国高校野球選手権大会というイメージが、日本では強いです。あまりの暑さに選手達が身体を壊さないかと心配です。スポーツで心身を鍛えるのは良いが、あまりにも無理をして肩を壊したり肘を痛めてスポーツが出来なくなるのは避けたいですね。スポーツが最近では商業化しすぎて、本来の健康な心身を育成するという趣旨から大きく外れて行っているのは寂しい限りです。

7月20日第27回参議院選挙の投票票がありました。物価高対策や日米関税交渉を含む外交・安全保障への姿勢、日本に居る外国人政策などを巡る論戦もあり、この国のあり方や針路を国民が選ぶ大切な日なのですが、選挙を棄権するのは勿体ないですね。昔は「姿勢を正せ」と言って、姿勢が悪いと胸を患いやすかったので、姿勢のことがうるさく言われました。自分の生き方や考え方が「生きる姿勢」という言葉で表現されたのです。

やなせたかしさんのアンパンマンの歌に、「何のために生まれ何をして生きる」とありますが、仏教で東の方向を歩み尋ねるといふのは「何のために自分はいま生まれたのか」ということを真剣に尋ねることであり、南の方向を尋ねるといふのは「何をして生きれば自分らしく完全燃焼ができるのか」という意味でもあります。太陽は東の方向から出て、南に上がり、西へ沈みます。人の一生は、一日の太陽に喩えられ、人間として「生きる意味」「死んでいく意味」を深く考えることこそ、人間としての生きる姿勢が正されるのです。

浄土真宗の開祖・親鸞聖人は「凡夫といふは欲も多く、怒り、腹立ち、嫉み、妬む心の多く暇無くして、臨終の一念に至るまでとどまらず、消えず、絶えず」と述べられています。自己中心の私が本当に見えてくると、他人の短所も少しは受け入れ許すことが出来ます。人は皆、我欲中心で生きていると思うと寂しいが、自分もそうだと受け入れることが、相手を認める近道なんです。合掌 (奥原 曇龍)

『何のために生まれ何をして生きるのか その問いこそが生きる意味だよ』 どんりゅう



カット：府川 綾

## ともしび説法

日時・八月 二十日 (水)・午前十時から十二時まで。  
九月 十一日 (木)・午前十時から十二時まで。  
場所・倉敷市早高 426 新本堂 電話 086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺 倉敷 検索](#)



# お釈迦様ものがたり 106

お釈迦様も80歳を迎え、自分の死後が近いことを悟り、比丘(僧侶)たちに正しい教えを伝え残す判定方法を四大経法として残されました。今回は四大教法の内(1)と(2)を紹介しましたが、今回は(3)と(4)を紹介いたします。

(3)ある比丘が、「自分は多くの博識な仏教の長老からこの教えを聞いたのであるから、これは正しく仏説に相違ない」と主張したとしても、そのままに肯定も否定もせずして、第(1)の場合のように、経と律とに照らして、適宜に判定すべきである。

(4)ある比丘が、「自分は一人の博識な長老から、この教えを聞いたのであるから、これは正しく仏説である」と主張したとしても、これを無条件に信頼せず、第(1)のように経と律とに照らして、合致するときにのみ正しい仏説と判定すべきである。

この四大教法の説法においても、お釈迦様の立場が、独断や妄信を全く許さず、あくまでも合理的であり、批判的でもありません。

お釈迦様は次いで比丘達に、戒定慧(戒律・禅定・智慧)などの実践に関する種々の説法をされ、適宜な滞在の後、ボーガ城に去られ、そこでこの町の鍛冶屋チュンダの所有する郊外のマンゴー林に住せられました。チュンダはお釈迦様の到着を聞いて、さっそく挨拶をなして、お釈迦様から説法をこうむり、翌日の食事の招待をして帰り、たくさんのごちそうの準備をしました。

お釈迦様は翌朝、比丘達と共にチュンダの家に行き、食事の供養を受けられました。その食事の中には、干した豚肉または茸のはいった御馳走であったが、お釈迦様は自分以外はこれを消化することが出来ないと思ひ、比丘たちには食べさせなかつた。食事が終わると説法がなされました。お釈迦様は消化不良の御馳走がいけなかつたのか、説法後に激しい腹痛に悩まされます。合掌 (奥原曇龍)

お盆だよ先祖を偲び寺参り 孫と一緒に南無阿弥陀仏 田辺多恵子



7月9日 ともしび説法

## ともしび法話

いよいよ御盆月です。年々と気温が上がって猛暑から酷暑になっていきます。皆様お元気で過ごしてください。

8月13日・14日は心光寺お盆の合同法要を午前9時からと初盆の方は午前10時半からに分かれて開催します。皆様、ご家族そろって気軽にご参詣ください。合掌 心光寺新坊守(ぼうもり) 府川 綾

今年の夏は梅雨も無く、6月22日から本格的な猛暑となり、人間だけで無く夏野菜も余りの暑さに萎れています。曇龍先生も暑さに負けず、お盆参り頑張ってください。 倉敷市藤戸町天城 福原 浩子

岡山県も熱帯地方の仲間入りをしたのかと思うほど、猛烈な暑さの夏です。お寺の御盆の合同法要には、亡き父母を偲ぶために参加し、お手伝いもさせていただきます。 倉敷市西坂 貝原富美子

「盆参り今年も参る心光寺 子や孫達も南無阿弥陀仏」

亡き主人もみんなを照らし守ってくれていてほしい。藤戸町天城 縄田 君子

## ともしび説法

日時・八月二十日(水)・午前十時から十二時まで。 九月十一日(木)・午前十時から十二時まで。

場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて 電話・(086)420-1311 駐車場有り

(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定

十月十六日(木)・午後一時半から四時まで・早高の本堂。 十一月三日(月)・午後一時から四時頃まで・早高の本堂。

秋の報恩講法要・永代経 儀式・仏教講演

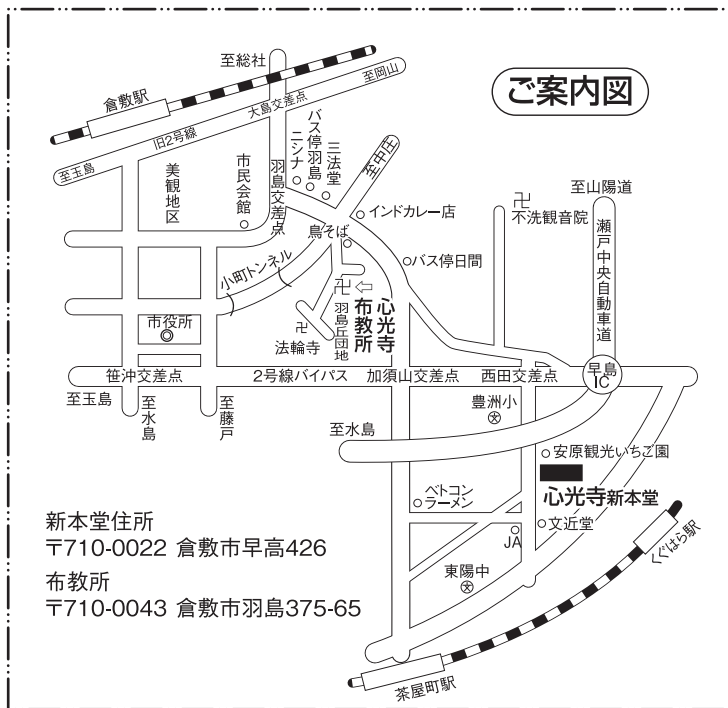
☆『ともしび』を、平成27〜29年、平成30〜令和2年、令和3年〜令和5年と三年ごとにまとめて本としました。毎月1回のお寺の新聞が本となって、過去の忘れていたニュースを思い出し、人生をふり返れます。まとめた本が欲しい方は実費でお分けします。



## いころの詩

八月は先祖を偲ぶお盆月 山も川も海も昔のままでないが いつも故郷の思いでは懐かしい ゆっくりと大地を踏みしめ 縁のあった人たちに感謝する 喜びも悲しみも包みながら 猛暑の夏が過ぎゆく

カット:吉岡美枝



新本堂住所 〒710-0022 倉敷市早高426 布教所 〒710-0043 倉敷市羽島375-65

◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。

倉敷市 井上様 3千円 倉敷市 井山恭明様 宮地伸子様 1万円

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426 浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺 TEL(086)420-1311 FAX 420-1322 携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「427号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。8月20日のともしび説法の日には茶屋町駅西口に9時30分にお寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は心光寺までご連絡下さい。合掌 総代長 本家豊彦